



### ◆ 12月のCP市場動向

12月末のCP市場残高は23兆5,654億円と前月比減少（△8,611億円）し、前年同月比では46カ月連続の増加（+3兆919億円）となった。月中、賞与資金手当てや税払い等の資金需要から24兆円台後半から25兆円程度で推移したが、月末には四半期要因で減少した。業態別残高では、一般事業法人が四半期末の残高調整から8兆5,226億円（前月比△1兆5,586億円）と大幅に減少し、金融機関も2兆5,113億円（同△667億円）と減少した。一方、その他金融が過去最高の10兆8,138億円（同+4,877億円）となり、ABC Pは1兆7,177億円（同+2,765億円）とそれぞれ増加した。発行レートは、引き続きコロナオペ目的等の引受もあって、ディーラーの購入ニーズが強くマイナス圏内での出会いとなり、希少銘柄では△0.05%台での出会いが見られた。

### 【新発3M物の発行レート】

最上位銘柄（a-1+格） 0.000%割れ 一般事業法人（a-1格） 0.000%割れ～0.0008%  
 その他金融銘柄（a-1格） 0.000%割れ～0.099%

### 【業態別残高内訳】

（単位：億円）

業 態	12月末残高	11月末残高	増 減
一般事業法人	85,226	100,812	-15,586
その他金融	108,138	103,261	4,877
金融機関	25,113	25,780	-667
政府系金融	0	0	0
銀行等	6,199	5,989	210
証券	18,914	19,791	-877
ABC P	17,177	14,412	2,765
計	235,654	244,265	-8,611

（注：買入消却分含む）

### 【格付け別の発行レート】

格 付	1カ月	2カ月	3カ月
a-1+（一般事業法人）	-0.005% ～ ——	-0.039% ～ -0.021%	-0.040% ～ 0.000%
a-1（一般事業法人）	-0.054% ～ 0.005%	-0.055% ～ 0.000%	-0.056% ～ 0.001%
a-1+（リース銘柄）	-0.030% ～ 0.000%	-0.016% ～ ——	-0.013% ～ 0.020%
a-1（リース銘柄）	0.010% ～ ——	0.007% ～ 0.033%	-0.055% ～ 0.099%
a-2	0.010% ～ ケ0.50%	0.019% ～ ケ0.75%	-0.051% ～ ケ1.00%

#### 「CPオペ」

CP等買入オペは、予定通り各回 6,000 億円で 3 回のオファーがあり、当月からオファー日が T+3 に変更となった。2 日のオペは按分レート△0.039%と前回（△0.034%）比低下した。14 日は、按分レートは横ばいであったものの、平均レートは△0.011%と前回（△0.031%）比上昇、強い売却ニーズがあったと思われる。25 日のオペでは、玉の入れ替えニーズからか、按分レートは△0.032%と上昇した。

〈月末オペ残高：4 兆 3,702 億円〉

#### 【日銀 CP 等買入れオペ実績】

（単位：億円）

実施日	実行日	オファー金額	応札額	落札額	按分・全取	平均落札	按分比率
12月2日	12月7日	6,000	10,834	5,994	-0.039%	-0.031%	30.5%
12月14日	12月17日	6,000	10,524	5,999	-0.039%	-0.011%	24.1%
12月25日	12月30日	6,000	11,735	5,975	-0.032%	-0.022%	41.2%

#### 「ABC P」

ABC Pは、1 兆 7,177 億円と四半期末要因で前月比+2,765 億円の増加となり、前年同月比でも+3,523 億円の増加となった。

#### 「短期社債登録状況」

証券保管振替機構によると、12 月末時点における発行登録企業数は変わらず 538 社であった。

#### 「CP 現先市場」

現先（S/N）レートは運用ニーズ変わらず、マイナス～0%近辺での出会いとなっていた。

#### ◆ 1 月の CP 市場動向

1 月の CP 発行市場は、期末要因が剥落し一般事業法人の発行再開で、期落ちの約 2 兆 3,300 億円（相対発行分を除く）を上回る発行となるだろう。既に、12 日時点で 24 兆 6,310 億円と、12 月末の発行残高から 1 兆 756 億円の発行増となっている。加えて、新型コロナウイルス感染拡大に対する緊急事態宣言の再発令から、予防的な資金調達へのニーズの強まりも見込まれ、月末残高は 47 ヶ月連続して前年同月を上回るとと思われる。

発行レートは、投資家やディーラーの運用ニーズが強く、一般事業法人（1 格銘柄）の銘柄でマイナス～0%程度、その他金融の銘柄（同格付）でマイナス～0.01%程度での出会いと思われる。また、希少銘柄の発行では過去最低レートの更新が続いており、強いマイナスレートでの出会いを予想する。

#### 「CP オペ」

CP等買入オペは、14 日と 26 日でそれぞれ 6,000 億円のオファー予定となっている。発行残高が高水準で推移していることもあり、ディーラーの売却ニーズも強くレートは前回比横ばい圏内での出会いを予想する。

#### 「CP 現先市場」

CP 現先レートは、0%近辺での出会いを予想する。

\* 参考資料 (出所：証券保管振替機構)

【12月末発行残高 上位10社】

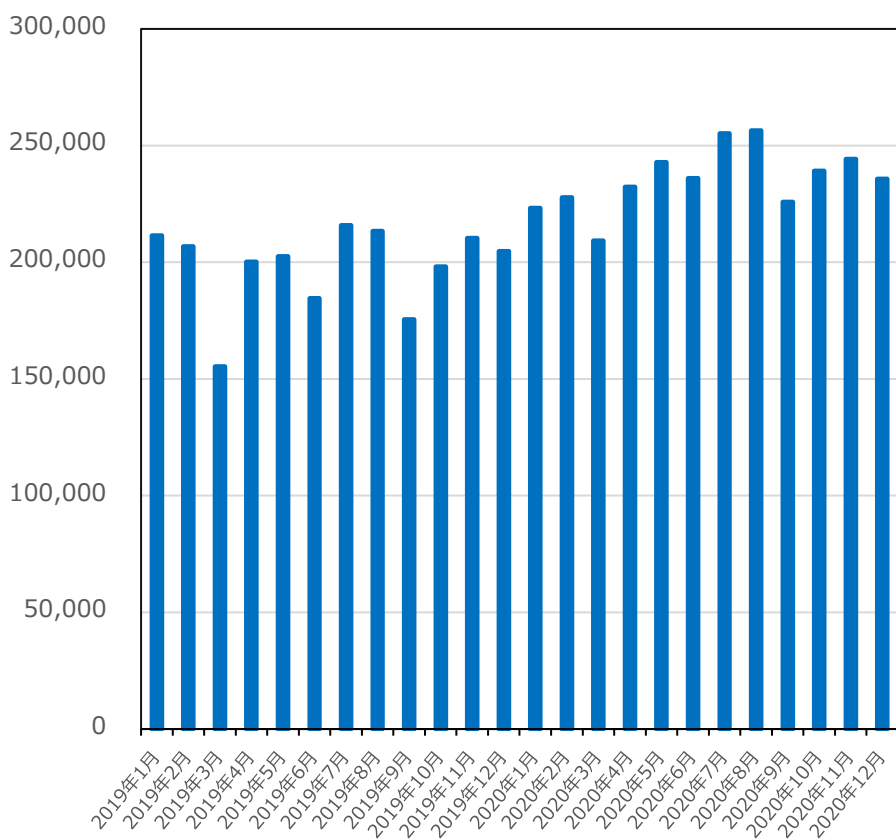
(単位：億円)

	発行企業名	12月末残高	11月末残高
1	NTTファイナンス株式会社	15,650	12,820
2	三井住友ファイナンス&リース株式会社	9,534	9,484
3	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	7,114	5,666
4	三菱重工業株式会社	6,740	6,880
5	みずほリース株式会社	6,072	6,055
6	株式会社クレディセゾン	5,450	5,440
7	株式会社日立製作所	4,880	3,870
8	日本証券金融株式会社	4,810	3,420
9	東日本旅客鉄道	4,650	3,650
10	株式会社ジャックス	4,645	4,645

【短期社債市場残高】

(2019年1月～2020年12月)

(単位：億円)



---

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。

記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

#### **上田八木短資株式会社**

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号 TEL : 03-3270-1711（代表）

大阪本社 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号 TEL : 06-6202-5551（代表）

加入協会 日本証券業協会